

## 第30回(通算2646回) 例会記録 2015年2月4日(水)

- 司会進行/ 渡久地 明
- ロータリーソング/ 君が代・四つのテスト
- 会員卓話/ 上原 秀政氏
- メイクアップ/ 大山 佐千夫・名渡山 秋彦  
米盛 博和 (計3名)

### 出席報告

会 員 総 数	36名
出 席 義 務 会 員	35名
出 席 数	22名
欠 席 数	10名
出 席 率	62.86%
通 算 出 席 率 ( 2 月 )	62.86%

### 本日のニコニコ

	収 入	累 計
ニコニコBox	¥2,000	¥120,000
コイン Box	¥2,350	¥65,873
合 計	¥4,350	¥185,873

👏 2月3日節分の日、無事終わりました。230名余りお参りありました。お土産に豆をどうぞ持って帰って、酒のつまみにして下さい。(小林 昌道)

### 幹事報告:白道 直行

今日、第9回理事会が行われました。

◀議題1▶ 香港中文大学生黄詠彤さんの来島について

6月か7月に5泊6日で石垣を訪れます。珊瑚の保全にボランティアとして関わりたいという事で、その点について色々教えて下さいという事と、もう1つ文化交流という意味も含めて、ホームステイしたいと、可能かどうかという事で理事会で話しましたが、細かい点分からない事がありまして、確認して再度審議することになりました。

◀議題2▶ 那覇南RC創立40周年記念式典・祝賀会について

このためだけに行くのは大変だから、出張等があればご参加頂きたいと伝えたが、とりあえず1名で報告しておく。

◀その他▶ 石垣旅行社の謝さんよりパンフ・石垣-台湾の限定販売に則り、台東東RCを訪問する方向で話を進めることとした。料金25,000円(往復航空券代金)発着は桃園空港。

### 会員卓話:上原 秀政氏

#### テーマ「尖閣・南小島上陸体験記」



そもそもどうして上陸したかをお話しようかと思えます。1990年(平成2年)2月24日(土)、当時私は県立八重山病院の内科で勤務しておりましたが、ちょうど当直で、冬場で小児の発熱患者で忙しかったんです。診療の一息をついて当直室で仮眠をとっていました。夜の11時半くらいに副院長から電話がかかってきました。当時の副院長は石垣良治先生でしたが、福岡船舶の漁船の中で、操業中に急病人が発生したために、第十一管区海上保安部から洋上救急の依頼が来たと、当直医である私が行ってこないかと、それで私が行く事になりました。夜が明けて25日(日)午前4時くらいに、海上保安庁から迎の車が来まして、石垣航空基地から海上保安庁のヘリに乗って飛び立ちました。現場は魚釣島北方の海上で発生したと、時間的には数十分で現場に到着したんです。ところが真暗で夜明けまでには時間があって、空中から探したが見つからなくて、燃料の問題もあって一旦近くの陸地に降りて夜が明けるのを待とうということになりました。それで私たちを乗せたヘリは尖閣諸島の南小島の平地に降りて、夜が明けるのを待つことになりました。せっかくだからと島を一回りしました。岩だらけで荒地でした。切り立った崖に囲まれていて、夜が明けつつあると海鳥でいっぱいなんです。歩けるところは少ししかないです。海鳥以外は見当たりませんでした。とにかく殺伐とした光景でした。明るくなってからヘリに搭乗して漁船捜索を開始しましたが、現場付近は荒れていて、前もって患者さんは巡視船くりにがみに引き上げられていました。私の乗ったヘリにくりにがみから急病人を吊りあげて収容したわけです。石垣航空基地に戻って、午前10時くらいには八重山病院に収容しました。

軽い意識障害と右の片麻痺があって、脳出血でしたが、そんなに重症ではなく歩いて退院していきました。

実は私がヘリに乗る1週間前、2月17日未明

に事故が起こったんです。宮古島で発生した事故なんです。くも膜下出血の患者さんを搬送するために那覇から宮古島に向かっていった陸上自衛隊機に添乗していた南部徳洲会病院の研修医、知花先生が乗組員3名と共に海上に墜落したんです。3名とも亡くなりました。当時添乗した医師に手当てもない状況でした。法整備も出来てないし、医者間で保証も何くなく、乗るだけ損だよという空気が流れていて、まず保証を受けられるような状況になったら添乗を受けようじゃないかという事になっていったんです。そういう時に私が依頼されて、断る事が好きではないので、行きましたが、後でなんて自分勝手な事をするんだと非難する先生もいました。朝帰って来ると妻がNHKのニュースで出ていたよと、ニュースになるんだなとびっくりしました。後日、十一管区海上保安部と日本水難救済会から感謝状を、東京まで行って頂きました。

尖閣諸島についていろいろ勉強しましたので、尖閣諸島は東シナ海の南西部に位置する豆粒のような島嶼群です。沖縄県石垣市登野城2390番地が南小島、2391番地が北小島、2392番地が魚釣島、2393番地が久場島、2394番地が大正島、この5つがメインです。行政区は石垣市登野城になっております。1895年1月14日日清戦争の最中に明治政府は慎重に調査した上で、尖閣諸島が無主地という事を確認して、沖縄県の所轄とする公式決定をすることになりました。大事な所は同じ年の4月17日には日清戦争は終結しまして、下関で日清講和条約が結ばれているんですけど、その時に李鴻章の講和の中で遼東半島、台湾、澎湖諸島が日本に割譲されました。日清講和条約で尖閣諸島が入っていたわけじゃなくて、それ以前に日本の領土であったという事が大事なポイントだと思います。古賀辰四郎が尖閣諸島の魚釣島で一時、アホウドリの羽毛とか鯉節工場を作って、一時280名余りの島民がいたらしいです。そして1940年に島から引き揚げているんです。第二次世界大戦後はアメリカの管轄下に置かれ、1972年に沖縄県の一部として日本に返還されています。その時に尖閣諸島は日本に帰された事になっております。近代国際法の先占の法理に基づいた日本の領土であることは明白であるという事です。

問題が起こったのは1969年から70年に国連の鉦

物資源調査で、尖閣諸島周辺の海域に大量の石油と天然ガスが埋蔵されているという事が判明してから、これから同諸島の所属に関して関心を示さなかった中国と台湾が急に領有権を主張し始めたという事です。中側は領有の根拠として江戸時代の古文書を何点か上げていたんですが、同諸島は中国大陸の大陸棚の一部であるから中国に領有権があると、資源を探查開発する権利を有すると主張しています。

確かに明治維新から始まって、琉球処分とか日清戦争までの間に宮古、八重山の分譲する案件とかが出て来ていて、その当時日本政府は領土の線引きをやるというのに一生懸命だったんだろうと思いますが、やはり万国公法とその当時言っていました。国際法です。それに則るとどうしても尖閣諸島は日本に所属するというのは明白であると、それを中国側が領有権を主張するのは、万国公法というのは欧米の法律だと中国は中華思想があるのかなという推測もあるんですが、それにしても国際社会の一員であるからには、国際法は遵守しなければいけないと個人的には思います。

余談ですが、私が八重山病院に勤務していた頃、平成8年(1996年)9月香港の活動家たちが尖閣諸島の領有権の問題で日本政府に抗議するために貨物船から魚釣島近くまで来て、海も荒れているのに海上に飛び込んだと、そして1人は死亡、もう1人は溺水して、八重山病院に運ばれてきました。ICUのスタッフは一生懸命命を助けるために処置をして、幸いなことに助かって、病院スタッフにお礼を言っている姿は何の変哲もない良い青年なんです。言いたいのは、尖閣は国の問題でいろいろありますが、実際に事故とかがあった時に運ばれるのは八重山なんです。現実問題としてそうせざるを得ないんです。人道的な立場から救急救命もやります。八重山はそういう場所なんです。

もう1つ余談ですが、2010年9月7日、尖閣諸島中国漁船衝突事件。これは中国の漁船が尖閣諸島近海で操業していた所、十一管区の巡視船が行きまして、勧告するんです。巡視船みずきとよなぐに、みずきに体当たりして逃げようとした事件がありました。当時民主党の政権下で管直人さんが首長で、外務大臣の前原さんがすぐ飛んできて視察をしたのを覚えています。公務執行妨害

という事で9月7日に逮捕されて、9月9日に那覇地検石垣支部に移されています。9月13日には船長以外の乗組員は帰っています。船長は9月25日にチャータ機で中国に帰りました。私は政治に疎いのでその辺の駆け引きは分かりませんが、処分保留という事で、いろいろ話し合いがありました。これはどのように関わったかという、当時私は海上保安庁の嘱託医でした。電話がかかって来て、船長が寝れないと、頭が痛い、見てくれないかという事で行きましたら、船長は福建省の片田舎の方で、言葉が通訳を介してもあまりよく分からないところがあって、症状としては寝れなくて頭が痛いと言っているんですけど、上原内科医の薬、安定剤と頭痛薬を無料であげました。その薬が効いたらしく喜んで、乗組員が沢山いて、中には刺青をした人とか素行の悪そうな若者がいて、話を聞いて自分達にも同じ薬をくれという事で、診察だけはしましよと海上保安庁の船に乗り込んで診察室で診察して、薬をあげたら喜んでいました。船長は帰る前に、その薬をくれんかという事で、あげました。後で国の係官がきて、上原内科にどれだけお金がかかったかという事で、僅かでしたが請求をしてくれという事で、国の偉い人が頭を下げてありがとうございましたと言われていました。

政治的な事は分かりませんが、尖閣の医療の面では私は関わりました。結局あの事件はユーチューブで画像が流れて、政治的な問題と絡み合っ八重山にいる私たちも迷惑を受けたという事がありました。

どうしてこんなに覚えているかという、実は当時、同人誌をやっていたので、その体験記をその中に書いていました。それには私個人の政治的な意見も書いてありますので、事務局に置いておきますので、読まれてください。以上で私の卓話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

## 例会風景



会長が体験した尖閣関連話をしてもらいました。



本日のランチ「和食膳」



© 2014-15年度 国際ロータリー第2580地区 地区大会にて以下の項目が決議されましたので、皆様にお知らせ致します。

### 地区大会決議

#### <決議第12号>

#### 松島寛容(那覇西RC)パストガバナー追悼の件

1992-93年度ガバナーの松島寛容氏は2014年8月12日に逝去されました。私たちはこの偉大な先輩のご遺徳とご功績に対し、深甚なる感謝と敬意を表するとともに衷心より哀悼の意を捧げることを決議いたします。

2015年(平成27年)2月25日(水) 第32回 例会(通算2648)

国際ロータリー第2580地区



# THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2545



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



#### ● ネットアイカセリ(セセリチョウ科)

八重山諸島特産の鮮やかなオレンジ色をしたセセリチョウ。本州などに生息するキマダラセセリに似ているが、本種はやや大きく前翅先端が尖る。

例会日 水曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311  
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
 TEL/FAX 0980-83-2917  
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
 E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

会長: 上原 秀政  
 副会長: 新 賢次  
 幹事: 白道 直行  
 副幹事: 宮 良 薫  
 SAA・出席: 渡久地 明雄  
 情報・会報: 玉城 守雄

## 第30回(通算2646回) 例会記録 2015年2月4日(水)

- 司会進行/ 渡久地 明
- ロータリーソング/ 君が代・四つのテスト
- 会員卓話/ 上原 秀政氏
- メイクアップ/ 大山 佐千夫・名渡山 秋彦  
米盛 博和 (計3名)

### 出席報告

会 員 総 数	36名
出 席 義 務 会 員	35名
出 席 数	22名
欠 席 数	10名
出 席 率	62.86%
通 算 出 席 率 ( 2 月 )	62.86%

### 本日のニコニコ

	収 入	累 計
ニコニコBox	¥2,000	¥120,000
コイン Box	¥2,350	¥65,873
合 計	¥4,350	¥185,873

👏 2月3日節分の日、無事終わりました。230名余りお参りありました。お土産に豆をどうぞ持って帰って、酒のつまみにして下さい。(小林 昌道)

### 幹事報告:白道 直行

今日、第9回理事会が行われました。

◀議題1▶ 香港中文大学生黄詠彤さんの来島について

6月か7月に5泊6日で石垣を訪れます。珊瑚の保全にボランティアとして関わりたいという事で、その点について色々教えて下さいという事と、もう1つ文化交流という意味も含めて、ホームステイしたいと、可能かどうかという事で理事会で話しましたが、細かい点分からない事がありまして、確認して再度審議することになりました。

◀議題2▶ 那覇南RC創立40周年記念式典・祝賀会について

このためだけに行くのは大変だから、出張等があればご参加頂きたいと伝えたが、とりあえず1名で報告しておく。

◀その他▶ 石垣旅行社の謝さんよりパンフ・石垣-台湾の限定販売に則り、台東東RCを訪問する方向で話を進めることとした。料金25,000円(往復航空券代金)発着は桃園空港。

### 会員卓話:上原 秀政氏

#### テーマ「尖閣・南小島上陸体験記」



そもそもどうして上陸したかをお話しようかと思えます。1990年(平成2年)2月24日(土)、当時私は県立八重山病院の内科で勤務しておりましたが、ちょうど当直で、冬場で小児の発熱患者で忙しかったんです。診療の一息をついて当直室で仮眠をとっていました。夜の11時半くらいに副院長から電話がかかってきました。当時の副院長は石垣良治先生でしたが、福岡船舶の漁船の中で、操業中に急病人が発生したために、第十一管区海上保安部から洋上救急の依頼が来たと、当直医である私が行ってこないかと、それで私が行く事になりました。夜が明けて25日(日)午前4時くらいに、海上保安庁から迎の車が来まして、石垣航空基地から海上保安庁のヘリに乗って飛び立ちました。現場は魚釣島北方の海上で発生したと、時間的には数十分で現場に到着したんです。ところが真暗で夜明けまでには時間があって、空中から探したが見つからなくて、燃料の問題もあって一旦近くの陸地に降りて夜が明けるのを待とうということになりました。それで私たちを乗せたヘリは尖閣諸島の南小島の平地に降りて、夜が明けるのを待つことになりました。せっかくだからと島を一回りしました。岩だらけで荒地でした。切り立った崖に囲まれていて、夜が明けつつあると海鳥でいっぱいなんです。歩けるところは少ししかないです。海鳥以外は見当たりませんでした。とにかく殺伐とした光景でした。明るくなってからヘリに搭乗して漁船捜索を開始しましたが、現場付近は荒れていて、前もって患者さんは巡視船くりにがみに引き上げられていました。私の乗ったヘリにくりにがみから急病人を吊りあげて収容したわけです。石垣航空基地に戻って、午前10時くらいには八重山病院に収容しました。

軽い意識障害と右の片麻痺があって、脳出血でしたが、そんなに重症ではなく歩いて退院していきました。

実は私がヘリに乗る1週間前、2月17日未明

に事故が起こったんです。宮古島で発生した事故なんです。くも膜下出血の患者さんを搬送するために那覇から宮古島に向かっていった陸上自衛隊機に添乗していた南部徳洲会病院の研修医、知花先生が乗組員3名と共に海上に墜落したんです。3名とも亡くなりました。当時添乗した医師に手当てもない状況でした。法整備も出来てないし、医者間で保証も何くなく、乗るだけ損だよという空気が流れていて、まず保証を受けられるような状況になったら添乗を受けようじゃないかという事になっていたんです。そういう時に私が依頼されて、断る事が好きではないので、行きましたが、後でなんて自分勝手な事をするんだと非難する先生もいました。朝帰って来ると妻がNHKのニュースで出ていたよと、ニュースになるんだなとびっくりしました。後日、十一管区海上保安部と日本水難救済会から感謝状を、東京まで行って頂きました。

尖閣諸島についていろいろ勉強しましたので、尖閣諸島は東シナ海の南西部に位置する豆粒のような島嶼群です。沖縄県石垣市登野城2390番地が南小島、2391番地が北小島、2392番地が魚釣島、2393番地が久場島、2394番地が大正島、この5つがメインです。行政区は石垣市登野城になっております。1895年1月14日日清戦争の最中に明治政府は慎重に調査した上で、尖閣諸島が無主地という事を確認して、沖縄県の所轄とする公式決定をすることになりました。大事な所は同じ年の4月17日には日清戦争は終結しまして、下関で日清講和条約が結ばれているんですけど、その時に李鴻章の講和の中で遼東半島、台湾、澎湖諸島が日本に割譲されました。日清講和条約で尖閣諸島が入っていたわけじゃなくて、それ以前に日本の領土であったという事が大事なポイントだと思います。古賀辰四郎が尖閣諸島の魚釣島で一時、アホウドリの羽毛とか鯉節工場を作って、一時280名余りの島民がいたらしいです。そして1940年に島から引き揚げているんです。第二次世界大戦後はアメリカの管轄下に置かれ、1972年に沖縄県の一部として日本に返還されています。その時に尖閣諸島は日本に帰された事になっております。近代国際法の先占の法理に基づいた日本の領土であることは明白であるという事です。

問題が起こったのは1969年から70年に国連の鉦

物資源調査で、尖閣諸島周辺の海域に大量の石油と天然ガスが埋蔵されているという事が判明してから、これから同諸島の所属に関して関心を示さなかった中国と台湾が急に領有権を主張し始めたという事です。中側は領有の根拠として江戸時代の古文書を何点か上げていたんですが、同諸島は中国大陸の大陸棚の一部であるから中国に領有権があると、資源を探查開発する権利を有すると主張しています。

確かに明治維新から始まって、琉球処分とか日清戦争までの間に宮古、八重山の分譲する案件とかが出て来ていて、その当時日本政府は領土の線引きをやるというのに一生懸命だったんだろうと思いますが、やはり万国公法とその当時言っていました。国際法です。それに則るとどうしても尖閣諸島は日本に所属するというのは明白であると、それを中国側が領有権を主張するのは、万国公法というのは欧米の法律だと中国は中華思想があるのかなという推測もあるんですが、それにしても国際社会の一員であるからには、国際法は遵守しなければいけないと個人的には思います。

余談ですが、私が八重山病院に勤務していた頃、平成8年(1996年)9月香港の活動家たちが尖閣諸島の領有権の問題で日本政府に抗議するために貨物船から魚釣島近くまで来て、海も荒れているのに海上に飛び込んだと、そして1人は死亡、もう1人は溺水して、八重山病院に運ばれてきました。ICUのスタッフは一生懸命命を助けるために処置をして、幸いなことに助かって、病院スタッフにお礼を言っている姿は何の変哲もない良い青年なんです。言いたいのは、尖閣は国の問題でいろいろありますが、実際に事故とかがあった時に運ばれるのは八重山なんです。現実問題としてそうせざるを得ないんです。人道的な立場から救急救命もやります。八重山はそういう場所なんです。

もう1つ余談ですが、2010年9月7日、尖閣諸島中国漁船衝突事件。これは中国の漁船が尖閣諸島近海で操業していた所、十一管区の巡視船が行きまして、勧告するんです。巡視船みずきとよなぐに、みずきに体当たりして逃げようとした事件がありました。当時民主党の政権下で管直人さんが首長で、外務大臣の前原さんがすぐ飛んできて視察をしたのを覚えています。公務執行妨害

という事で9月7日に逮捕されて、9月9日に那覇地検石垣支部に移されています。9月13日には船長以外の乗組員は帰っています。船長は9月25日にチャータ機で中国に帰りました。私は政治に疎いのでその辺の駆け引きは分かりませんが、処分保留という事で、いろいろ話し合いがありました。これはどのように関わったかという、当時私は海上保安庁の嘱託医でした。電話がかかって来て、船長が寝れないと、頭が痛い、見てくれないかという事で行きましたら、船長は福建省の片田舎の方で、言葉が通訳を介してもあまりよく分からないところがあって、症状としては寝れなくて頭が痛いと言っているんですけど、上原内科医の薬、安定剤と頭痛薬を無料であげました。その薬が効いたらしく喜んで、乗組員が沢山いて、中には刺青をした人とか素行の悪そうな若者がいて、話を聞いて自分達にも同じ薬をくれという事で、診察だけはしましよと海上保安庁の船に乗り込んで診察室で診察して、薬をあげたら喜んでいました。船長は帰る前に、その薬をくれんかという事で、あげました。後で国の係官がきて、上原内科にどれだけお金がかかったかという事で、僅かでしたが請求をしてくれという事で、国の偉い人が頭を下げてありがとうございましたと言われていました。

政治的な事は分かりませんが、尖閣の医療の面では私は関わりました。結局あの事件はユーチューブで画像が流れて、政治的な問題と絡み合っ八重山にいる私たちも迷惑を受けたという事がありました。

どうしてこんなに覚えているかという、実は当時、同人誌をやっていたので、その体験記をその中に書いていました。それには私個人の政治的な意見も書いてありますので、事務局に置いておきますので、読まれてください。以上で私の卓話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

## 例会風景



会長が体験した尖閣関連話をしてもらいました。



本日のランチ「和食膳」



© 2014-15年度 国際ロータリー第2580地区 地区大会にて以下の項目が決議されましたので、皆様にお知らせ致します。

### 地区大会決議

#### <決議第12号>

#### 松島寛容(那覇西RC)パストガバナー追悼の件

1992-93年度ガバナーの松島寛容氏は2014年8月12日に逝去されました。私たちはこの偉大な先輩のご遺徳とご功績に対し、深甚なる感謝と敬意を表するとともに衷心より哀悼の意を捧げることを決議いたします。

2015年(平成27年)2月25日(水) 第32回 例会(通算2648)

国際ロータリー第2580地区



# THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2545



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



#### ● ネットアイカセリ(セセリチョウ科)

八重山諸島特産の鮮やかなオレンジ色をしたセセリチョウ。本州などに生息するキマダラセセリに似ているが、本種はやや大きく前翅先端が尖る。

例会日 水曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311  
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
 TEL/FAX 0980-83-2917  
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
 E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

会 長 : 上 原 秀 政  
 副 会 長 : 新 賢 次  
 幹 事 : 白 道 直 行  
 副 幹 事 : 宮 良 薫  
 S A A ・ 出 席 : 渡 久 地 明  
 情 報 ・ 会 報 : 玉 城 守 雄

## 第30回(通算2646回) 例会記録 2015年2月4日(水)

- 司会進行/ 渡久地 明
- ロータリーソング/ 君が代・四つのテスト
- 会員卓話/ 上原 秀政氏
- メイクアップ/ 大山 佐千夫・名渡山 秋彦  
米盛 博和 (計3名)

### 出席報告

会 員 総 数	36名
出 席 義 務 会 員	35名
出 席 数	22名
欠 席 数	10名
出 席 率	62.86%
通 算 出 席 率 ( 2 月 )	62.86%

### 本日のニコニコ

	収 入	累 計
ニコニコBox	¥2,000	¥120,000
コイン Box	¥2,350	¥65,873
合 計	¥4,350	¥185,873

👏 2月3日節分の日、無事終わりました。230名余りお参りありました。お土産に豆をどうぞ持って帰って、酒のつまみにして下さい。(小林 昌道)

### 幹事報告:白道 直行

今日、第9回理事会が行われました。

◀議題1▶ 香港中文大学生黄詠彤さんの来島について

6月か7月に5泊6日で石垣を訪れます。珊瑚の保全にボランティアとして関わりたいという事で、その点について色々教えて下さいという事と、もう1つ文化交流という意味も含めて、ホームステイしたいと、可能かどうかという事で理事会で話しましたが、細かい点分からない事がありまして、確認して再度審議することになりました。

◀議題2▶ 那覇南RC創立40周年記念式典・祝賀会について

このためだけに行くのは大変だから、出張等があればご参加頂きたいと伝えたが、とりあえず1名で報告しておく。

◀その他▶ 石垣旅行社の謝さんよりパンフ・石垣-台湾の限定販売に則り、台東東RCを訪問する方向で話を進めることとした。料金25,000円(往復航空券代金)発着は桃園空港。

### 会員卓話:上原 秀政氏

#### テーマ「尖閣・南小島上陸体験記」



そもそもどうして上陸したかをお話しようかと思えます。1990年(平成2年)2月24日(土)、当時私は県立八重山病院の内科で勤務しておりましたが、ちょうど当直で、冬場で小児の発熱患者で忙しかったんです。診療の一息をついて当直室で仮眠をとっていました。夜の11時半くらいに副院長から電話がかかってきました。当時の副院長は石垣良治先生でしたが、福岡船舶の漁船の中で、操業中に急病人が発生したために、第十一管区海上保安部から洋上救急の依頼が来たと、当直医である私が行ってこないかと、それで私が行く事になりました。夜が明けて25日(日)午前4時くらいに、海上保安庁から迎の車が来まして、石垣航空基地から海上保安庁のヘリに乗って飛び立ちました。現場は魚釣島北方の海上で発生したと、時間的には数十分で現場に到着したんです。ところが真暗で夜明けまでには時間があって、空中から探したが見つからなくて、燃料の問題もあって一旦近くの陸地に降りて夜が明けるのを待とうということになりました。それで私たちを乗せたヘリは尖閣諸島の南小島の平地に降りて、夜が明けるのを待つことになりました。せっかくだからと島を一回りしました。岩だらけで荒地でした。切り立った崖に囲まれていて、夜が明けつつあると海鳥でいっぱいなんです。歩けるところは少ししかないです。海鳥以外は見当たりませんでした。とにかく殺伐とした光景でした。明るくなってからヘリに搭乗して漁船捜索を開始しましたが、現場付近は荒れていて、前もって患者さんは巡視船くりにがみに引き上げられていました。私の乗ったヘリにくりにがみから急病人を吊りあげて収容したわけです。石垣航空基地に戻って、午前10時くらいには八重山病院に収容しました。

軽い意識障害と右の片麻痺があって、脳出血でしたが、そんなに重症ではなく歩いて退院していきました。

実は私がヘリに乗る1週間前、2月17日未明

に事故が起こったんです。宮古島で発生した事故なんです。くも膜下出血の患者さんを搬送するために那覇から宮古島に向かっていった陸上自衛隊機に添乗していた南部徳洲会病院の研修医、知花先生が乗組員3名と共に海上に墜落したんです。3名とも亡くなりました。当時添乗した医師に手当てもない状況でした。法整備も出来てないし、医者間で保証も何くなく、乗るだけ損だよという空気が流れていて、まず保証を受けられるような状況になったら添乗を受けようじゃないかという事になっていたんです。そういう時に私が依頼されて、断る事が好きではないので、行きましたが、後でなんて自分勝手な事をするんだと非難する先生もいました。朝帰って来ると妻がNHKのニュースで出ていたよと、ニュースになるんだなとびっくりしました。後日、十一管区海上保安部と日本水難救済会から感謝状を、東京まで行って頂きました。

尖閣諸島についていろいろ勉強しましたので、尖閣諸島は東シナ海の南西部に位置する豆粒のような島嶼群です。沖縄県石垣市登野城2390番地が南小島、2391番地が北小島、2392番地が魚釣島、2393番地が久場島、2394番地が大正島、この5つがメインです。行政区は石垣市登野城になっております。1895年1月14日日清戦争の最中に明治政府は慎重に調査した上で、尖閣諸島が無主地という事を確認して、沖縄県の所轄とする公式決定をすることになりました。大事な所は同じ年の4月17日には日清戦争は終結しまして、下関で日清講和条約が結ばれているんですけど、その時に李鴻章の講和の中で遼東半島、台湾、澎湖諸島が日本に割譲されました。日清講和条約で尖閣諸島が入っていたわけじゃなくて、それ以前に日本の領土であったという事が大事なポイントだと思います。古賀辰四郎が尖閣諸島の魚釣島で一時、アホウドリの羽毛とか鯉節工場を作って、一時280名余りの島民がいたらしいです。そして1940年に島から引き揚げているんです。第二次世界大戦後はアメリカの管轄下に置かれ、1972年に沖縄県の一部として日本に返還されています。その時に尖閣諸島は日本に帰された事になっております。近代国際法の先占の法理に基づいた日本の領土であることは明白であるという事です。

問題が起こったのは1969年から70年に国連の鉦

物資源調査で、尖閣諸島周辺の海域に大量の石油と天然ガスが埋蔵されているという事が判明してから、これから同諸島の所属に関して関心を示さなかった中国と台湾が急に領有権を主張し始めたという事です。中側は領有の根拠として江戸時代の古文書を何点か上げていたんですが、同諸島は中国大陸の大陸棚の一部であるから中国に領有権があると、資源を探查開発する権利を有すると主張しています。

確かに明治維新から始まって、琉球処分とか日清戦争までの間に宮古、八重山の分譲する案件とかが出て来ていて、その当時日本政府は領土の線引きをやるというのに一生懸命だったんだろうと思いますが、やはり万国公法とその当時言っていました。国際法です。それに則るとどうしても尖閣諸島は日本に所属するというのは明白であると、それを中国側が領有権を主張するのは、万国公法というのは欧米の法律だと中国は中華思想があるのかなという推測もあるんですが、それにしても国際社会の一員であるからには、国際法は遵守しなければいけないと個人的には思います。

余談ですが、私が八重山病院に勤務していた頃、平成8年(1996年)9月香港の活動家たちが尖閣諸島の領有権の問題で日本政府に抗議するために貨物船から魚釣島近くまで来て、海も荒れているのに海上に飛び込んだと、そして1人は死亡、もう1人は溺水して、八重山病院に運ばれてきました。ICUのスタッフは一生懸命命を助けるために処置をして、幸いなことに助かって、病院スタッフにお礼を言っている姿は何の変哲もない良い青年なんです。言いたいのは、尖閣は国の問題でいろいろありますが、実際に事故とかがあった時に運ばれるのは八重山なんです。現実問題としてそうせざるを得ないんです。人道的な立場から救急救命もやります。八重山はそういう場所なんです。

もう1つ余談ですが、2010年9月7日、尖閣諸島中国漁船衝突事件。これは中国の漁船が尖閣諸島近海で操業していた所、十一管区の巡視船が行きまして、勧告するんです。巡視船みずきとよなぐに、みずきに体当たりして逃げようとした事件がありました。当時民主党の政権下で管直人さんが首長で、外務大臣の前原さんがすぐ飛んできて視察をしたのを覚えています。公務執行妨害

という事で9月7日に逮捕されて、9月9日に那覇地検石垣支部に移されています。9月13日には船長以外の乗組員は帰っています。船長は9月25日にチャータ機で中国に帰りました。私は政治に疎いのでその辺の駆け引きは分かりませんが、処分保留という事で、いろいろ話し合いがありました。これはどのように関わったかという、当時私は海上保安庁の嘱託医でした。電話がかかって来て、船長が寝れないと、頭が痛い、見てくれないかという事で行きましたら、船長は福建省の片田舎の方で、言葉が通訳を介してもあまりよく分からないところがあって、症状としては寝れなくて頭が痛いと言っているんですけど、上原内科医の薬、安定剤と頭痛薬を無料であげました。その薬が効いたらしく喜んで、乗組員が沢山いて、中には刺青をした人とか素行の悪そうな若者がいて、話を聞いて自分達にも同じ薬をくれという事で、診察だけはしましよと海上保安庁の船に乗り込んで診察室で診察して、薬をあげたら喜んでいました。船長は帰る前に、その薬をくれんかという事で、あげました。後で国の係官がきて、上原内科にどれだけお金がかかったかという事で、僅かでしたが請求をしてくれという事で、国の偉い人が頭を下げてありがとうございましたと言われていました。

政治的な事は分かりませんが、尖閣の医療の面では私は関わりました。結局あの事件はユーチューブで画像が流れて、政治的な問題と絡み合って八重山にいる私たちも迷惑を受けたという事がありました。

どうしてこんなに覚えているかという、実は当時、同人誌をやっていたので、その体験記をその中に書いていました。それには私個人の政治的な意見も書いてありますので、事務局に置いておきますので、読まれてください。以上で私の卓話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

## 例会風景



会長が体験した尖閣関連話をしてもらいました。



本日のランチ「和食膳」



◎ 2014-15年度 国際ロータリー第2580地区 地区大会にて以下の項目が決議されましたので、皆様にお知らせ致します。

### 地区大会決議

#### <決議第12号>

#### 松島寛容(那覇西RC)パストガバナー追悼の件

1992-93年度ガバナーの松島寛容氏は2014年8月12日に逝去されました。私たちはこの偉大な先輩のご遺徳とご功績に対し、深甚なる感謝と敬意を表するとともに衷心より哀悼の意を捧げることを決議いたします。

2015年(平成27年)2月25日(水) 第32回 例会(通算2648)

国際ロータリー第2580地区



# THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2545



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



#### ● ネットアイカセリ(セセリチョウ科)

八重山諸島特産の鮮やかなオレンジ色をしたセセリチョウ。本州などに生息するキマダラセセリに似ているが、本種はやや大きく前翅先端が尖る。

例会日 水曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311  
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
 TEL/FAX 0980-83-2917  
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
 E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

会 長 : 上 原 秀 政  
 副 会 長 : 新 賢 次  
 幹 事 : 白 道 直 行  
 副 幹 事 : 宮 良 薫  
 S A A ・ 出 席 : 渡 久 地 明  
 情 報 ・ 会 報 : 玉 城 守 雄

## 第30回(通算2646回) 例会記録 2015年2月4日(水)

- 司会進行/ 渡久地 明
- ロータリーソング/ 君が代・四つのテスト
- 会員卓話/ 上原 秀政氏
- メイクアップ/ 大山 佐千夫・名渡山 秋彦  
米盛 博和 (計3名)

### 出席報告

会 員 総 数	36名
出 席 義 務 会 員	35名
出 席 数	22名
欠 席 数	10名
出 席 率	62.86%
通 算 出 席 率 ( 2 月 )	62.86%

### 本日のニコニコ

	収 入	累 計
ニコニコBox	¥2,000	¥120,000
コイン Box	¥2,350	¥65,873
合 計	¥4,350	¥185,873

👏 2月3日節分の日、無事終わりました。230名余りお参りありました。お土産に豆をどうぞ持って帰って、酒のつまみにして下さい。(小林 昌道)

### 幹事報告:白道 直行

今日、第9回理事会が行われました。

◀議題1▶ 香港中文大学生黄詠彤さんの来島について

6月か7月に5泊6日で石垣を訪れます。珊瑚の保全にボランティアとして関わりたいという事で、その点について色々教えて下さいという事と、もう1つ文化交流という意味も含めて、ホームステイしたいと、可能かどうかという事で理事会で話しましたが、細かい点分からない事がありまして、確認して再度審議することになりました。

◀議題2▶ 那覇南RC創立40周年記念式典・祝賀会について

このためだけに行くのは大変だから、出張等があればご参加頂きたいと伝えたが、とりあえず1名で報告しておく。

◀その他▶ 石垣旅行社の謝さんよりパンフ・石垣-台湾の限定販売に則り、台東東RCを訪問する方向で話を進めることとした。料金25,000円(往復航空券代金)発着は桃園空港。

### 会員卓話:上原 秀政氏

#### テーマ「尖閣・南小島上陸体験記」



そもそもどうして上陸したかをお話しようかと思えます。1990年(平成2年)2月24日(土)、当時私は県立八重山病院の内科で勤務しておりましたが、ちょうど当直で、冬場で小児の発熱患者で忙しかったんです。診療の一息をついて当直室で仮眠をとっていました。夜の11時半くらいに副院長から電話がかかってきました。当時の副院長は石垣良治先生でしたが、福岡船舶の漁船の中で、操業中に急病人が発生したために、第十一管区海上保安部から洋上救急の依頼が来たと、当直医である私が行ってこないかと、それで私が行く事になりました。夜が明けて25日(日)午前4時くらいに、海上保安庁から迎の車が来まして、石垣航空基地から海上保安庁のヘリに乗って飛び立ちました。現場は魚釣島北方の海上で発生したと、時間的には数十分で現場に到着したんです。ところが真暗で夜明けまでには時間があって、空中から探したが見つからなくて、燃料の問題もあって一旦近くの陸地に降りて夜が明けるのを待とうということになりました。それで私たちを乗せたヘリは尖閣諸島の南小島の平地に降りて、夜が明けるのを待つことになりました。せっかくだからと島を一回りしました。岩だらけで荒地でした。切り立った崖に囲まれていて、夜が明けつつあると海鳥でいっぱいなんです。歩けるところは少ししかないです。海鳥以外は見当たりませんでした。とにかく殺伐とした光景でした。明るくなってからヘリに搭乗して漁船捜索を開始しましたが、現場付近は荒れていて、前もって患者さんは巡視船くがみに引き上げられていました。私の乗ったヘリにくがみから急病人を吊りあげて収容したわけです。石垣航空基地に戻って、午前10時くらいには八重山病院に収容しました。

軽い意識障害と右の片麻痺があって、脳出血でしたが、そんなに重症ではなく歩いて退院していきました。

実は私がヘリに乗る1週間前、2月17日未明

に事故が起こったんです。宮古島で発生した事故なんです。くも膜下出血の患者さんを搬送するために那覇から宮古島に向かっていった陸上自衛隊機に添乗していた南部徳洲会病院の研修医、知花先生が乗組員3名と共に海上に墜落したんです。3名とも亡くなりました。当時添乗した医師に手当てもない状況でした。法整備も出来てないし、医者間で保証も何くなく、乗るだけ損だよという空気が流れていて、まず保証を受けられるような状況になったら添乗を受けようじゃないかという事になっていたんです。そういう時に私が依頼されて、断る事が好きではないので、行きましたが、後でなんて自分勝手な事をするんだと非難する先生もいました。朝帰って来ると妻がNHKのニュースで出ていたよと、ニュースになるんだなとびっくりしました。後日、十一管区海上保安部と日本水難救済会から感謝状を、東京まで行って頂きました。

尖閣諸島についていろいろ勉強しましたので、尖閣諸島は東シナ海の南西部に位置する豆粒のような島嶼群です。沖縄県石垣市登野城2390番地が南小島、2391番地が北小島、2392番地が魚釣島、2393番地が久場島、2394番地が大正島、この5つがメインです。行政区は石垣市登野城になっております。1895年1月14日日清戦争の最中に明治政府は慎重に調査した上で、尖閣諸島が無主地という事を確認して、沖縄県の所轄とする公式決定をすることになりました。大事な所は同じ年の4月17日には日清戦争は終結しまして、下関で日清講和条約が結ばれているんですけど、その時に李鴻章の講和の中で遼東半島、台湾、澎湖諸島が日本に割譲されました。日清講和条約で尖閣諸島が入っていたわけじゃなくて、それ以前に日本の領土であったという事が大事なポイントだと思います。古賀辰四郎が尖閣諸島の魚釣島で一時、アホウドリの羽毛とか鯉節工場を作って、一時280名余りの島民がいたらしいです。そして1940年に島から引き揚げているんです。第二次世界大戦後はアメリカの管轄下に置かれ、1972年に沖縄県の一部として日本に返還されています。その時に尖閣諸島は日本に帰された事になっております。近代国際法の先占の法理に基づいた日本の領土であることは明白であるという事です。

問題が起こったのは1969年から70年に国連の鉦

物資源調査で、尖閣諸島周辺の海域に大量の石油と天然ガスが埋蔵されているという事が判明してから、これから同諸島の所属に関して関心を示さなかった中国と台湾が急に領有権を主張し始めたという事です。中側は領有の根拠として江戸時代の古文書を何点か上げていたんですが、同諸島は中国大陸の大陸棚の一部であるから中国に領有権があると、資源を探查開発する権利を有すると主張しています。

確かに明治維新から始まって、琉球処分とか日清戦争までの間に宮古、八重山の分譲する案件とかが出て来ていて、その当時日本政府は領土の線引きをやるというのに一生懸命だったんだろうと思いますが、やはり万国公法とその当時言っていました。国際法です。それに則るとどうしても尖閣諸島は日本に所属するというのは明白であると、それを中国側が領有権を主張するのは、万国公法というのは欧米の法律だと中国は中華思想があるのかなという推測もあるんですが、それにしても国際社会の一員であるからには、国際法は遵守しなければいけないと個人的には思います。

余談ですが、私が八重山病院に勤務していた頃、平成8年(1996年)9月香港の活動家たちが尖閣諸島の領有権の問題で日本政府に抗議するために貨物船から魚釣島近くまで来て、海も荒れているのに海上に飛び込んだと、そして1人は死亡、もう1人は溺水して、八重山病院に運ばれてきました。ICUのスタッフは一生懸命命を助けるために処置をして、幸いなことに助かって、病院スタッフにお礼を言っている姿は何の変哲もない良い青年なんです。言いたいのは、尖閣は国の問題でいろいろありますが、実際に事故とかがあった時に運ばれるのは八重山なんです。現実問題としてそうせざるを得ないんです。人道的な立場から救急救命もやります。八重山はそういう場所なんです。

もう1つ余談ですが、2010年9月7日、尖閣諸島中国漁船衝突事件。これは中国の漁船が尖閣諸島近海で操業していた所、十一管区の巡視船が行きまして、勧告するんです。巡視船みずきとよなぐに、みずきに体当たりして逃げようとした事件がありました。当時民主党の政権下で管直人さんが首長で、外務大臣の前原さんがすぐ飛んできて視察をしたのを覚えています。公務執行妨害

という事で9月7日に逮捕されて、9月9日に那覇地検石垣支部に移されています。9月13日には船長以外の乗組員は帰っています。船長は9月25日にチャータ機で中国に帰りました。私は政治に疎いのでその辺の駆け引きは分かりませんが、処分保留という事で、いろいろ話し合いがありました。これはどのように関わったかという、当時私は海上保安庁の嘱託医でした。電話がかかって来て、船長が寝れないと、頭が痛い、見てくれないかという事で行きましたら、船長は福建省の片田舎の方で、言葉が通訳を介してもあまりよく分からないところがあって、症状としては寝れなくて頭が痛いと言っているんですけど、上原内科医の薬、安定剤と頭痛薬を無料であげました。その薬が効いたらしく喜んで、乗組員が沢山いて、中には刺青をした人とか素行の悪そうな若者がいて、話を聞いて自分達にも同じ薬をくれという事で、診察だけはしましよと海上保安庁の船に乗り込んで診察室で診察して、薬をあげたら喜んでいました。船長は帰る前に、その薬をくれんかという事で、あげました。後で国の係官がきて、上原内科にどれだけお金がかかったかという事で、僅かでしたが請求をしてくれという事で、国の偉い人が頭を下げてありがとうございましたと言われていました。

政治的な事は分かりませんが、尖閣の医療の面では私は関わりました。結局あの事件はユーチューブで画像が流れて、政治的な問題と絡み合っただけで八重山にいる私たちも迷惑を受けたという事がありました。

どうしてこんなに覚えているかという、実は当時、同人誌をやっていたので、その体験記をその中に書いていました。それには私個人の政治的な意見も書いてありますので、事務局に置いておきますので、読まれてください。以上で私の卓話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

## 例会風景



会長が体験した尖閣関連話をしてもらいました。



本日のランチ「和食膳」



◎ 2014-15年度 国際ロータリー第2580地区 地区大会にて以下の項目が決議されましたので、皆様にお知らせ致します。

### 地区大会決議

#### <決議第12号>

#### 松島寛容(那覇西RC)パストガバナー追悼の件

1992-93年度ガバナーの松島寛容氏は2014年8月12日に逝去されました。私たちはこの偉大な先輩のご遺徳とご功績に対し、深甚なる感謝と敬意を表するとともに衷心より哀悼の意を捧げることを決議いたします。

2015年(平成27年)2月25日(水) 第32回 例会(通算2648)

国際ロータリー第2580地区



# THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2545



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



#### ● ネットアイカセリ(セセリチョウ科)

八重山諸島特産の鮮やかなオレンジ色をしたセセリチョウ。本州などに生息するキマダラセセリに似ているが、本種はやや大きく前翅先端が尖る。

例会日 水曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311  
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4  
 TEL/FAX 0980-83-2917  
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
 E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

会長: 上原 秀政  
 副会長: 新 賢次  
 幹事: 白道 直行  
 副幹事: 宮 良 薫  
 SAA・出席: 渡久地 明雄  
 情報・会報: 玉城 守雄

## 第30回(通算2646回) 例会記録 2015年2月4日(水)

- 司会進行/ 渡久地 明
- ロータリーソング/ 君が代・四つのテスト
- 会員卓話/ 上原 秀政氏
- メイクアップ/ 大山 佐千夫・名渡山 秋彦  
米盛 博和 (計3名)

### 出席報告

会 員 総 数	36名
出 席 義 務 会 員	35名
出 席 数	22名
欠 席 数	10名
出 席 率	62.86%
通 算 出 席 率 ( 2 月 )	62.86%

### 本日のニコニコ

	収 入	累 計
ニコニコBox	¥2,000	¥120,000
コイン Box	¥2,350	¥65,873
合 計	¥4,350	¥185,873

👏 2月3日節分の日、無事終わりました。230名余りお参りありました。お土産に豆をどうぞ持って帰って、酒のつまみにして下さい。(小林 昌道)

### 幹事報告:白道 直行

今日、第9回理事会が行われました。

◀議題1▶ 香港中文大学生黄詠彤さんの来島について

6月か7月に5泊6日で石垣を訪れます。珊瑚の保全にボランティアとして関わりたいという事で、その点について色々教えて下さいという事と、もう1つ文化交流という意味も含めて、ホームステイしたいと、可能かどうかという事で理事会で話しましたが、細かい点分からない事がありまして、確認して再度審議することになりました。

◀議題2▶ 那覇南RC創立40周年記念式典・祝賀会について

このためだけに行くのは大変だから、出張等があればご参加頂きたいと伝えたが、とりあえず1名で報告しておく。

◀その他▶ 石垣旅行社の謝さんよりパンフ・石垣-台湾の限定販売に則り、台東東RCを訪問する方向で話を進めることとした。料金25,000円(往復航空券代金)発着は桃園空港。

### 会員卓話:上原 秀政氏

#### テーマ「尖閣・南小島上陸体験記」



そもそもどうして上陸したかをお話しようかと思えます。1990年(平成2年)2月24日(土)、当時私は県立八重山病院の内科で勤務しておりましたが、ちょうど当直で、冬場で小児の発熱患者で忙しかったんです。診療の一息をついて当直室で仮眠をとっていました。夜の11時半くらいに副院長から電話がかかってきました。当時の副院長は石垣良治先生でしたが、福岡船舶の漁船の中で、操業中に急病人が発生したために、第十一管区海上保安部から洋上救急の依頼が来たと、当直医である私が行ってこないかと、それで私が行く事になりました。夜が明けて25日(日)午前4時くらいに、海上保安庁から迎の車が来まして、石垣航空基地から海上保安庁のヘリに乗って飛び立ちました。現場は魚釣島北方の海上で発生したと、時間的には数十分で現場に到着したんです。ところが真暗で夜明けまでには時間があって、空中から探したが見つからなくて、燃料の問題もあって一旦近くの陸地に降りて夜が明けるのを待とうということになりました。それで私たちを乗せたヘリは尖閣諸島の南小島の平地に降りて、夜が明けるのを待つことになりました。せっかくだからと島を一回りしました。岩だらけで荒地でした。切り立った崖に囲まれていて、夜が明けつつあると海鳥でいっぱいなんです。歩けるところは少ししかないです。海鳥以外は見当たりませんでした。とにかく殺伐とした光景でした。明るくなってからヘリに搭乗して漁船捜索を開始しましたが、現場付近は荒れていて、前もって患者さんは巡視船くがみに引き上げられていました。私の乗ったヘリにくがみから急病人を吊りあげて収容したわけです。石垣航空基地に戻って、午前10時くらいには八重山病院に収容しました。軽い意識障害と右の片麻痺があって、脳出血でしたが、そんなに重症ではなく歩いて退院していきました。

実は私がヘリに乗る1週間前、2月17日未明

に事故が起こったんです。宮古島で発生した事故なんです。くも膜下出血の患者さんを搬送するために那覇から宮古島に向かっていった陸上自衛隊機に添乗していた南部徳洲会病院の研修医、知花先生が乗組員3名と共に海上に墜落したんです。3名とも亡くなりました。当時添乗した医師に手当てもない状況でした。法整備も出来てないし、医者間で保証も何くなく、乗るだけ損だよという空気が流れていて、まず保証を受けられるような状況になったら添乗を受けようじゃないかという事になっていたんです。そういう時に私が依頼されて、断る事が好きではないので、行きましたが、後でなんて自分勝手な事をするんだと非難する先生もいました。朝帰って来ると妻がNHKのニュースで出ていたよと、ニュースになるんだなとびっくりしました。後日、十一管区海上保安部と日本水難救済会から感謝状を、東京まで行って頂きました。

尖閣諸島についていろいろ勉強しましたので、尖閣諸島は東シナ海の南西部に位置する豆粒のような島嶼群です。沖縄県石垣市登野城2390番地が南小島、2391番地が北小島、2392番地が魚釣島、2393番地が久場島、2394番地が大正島、この5つがメインです。行政区は石垣市登野城になっております。1895年1月14日日清戦争の最中に明治政府は慎重に調査した上で、尖閣諸島が無主地という事を確認して、沖縄県の所轄とする公式決定をすることになりました。大事な所は同じ年の4月17日には日清戦争は終結しまして、下関で日清講和条約が結ばれているんですけど、その時に李鴻章の講和の中で遼東半島、台湾、澎湖諸島が日本に割譲されました。日清講和条約で尖閣諸島が入っていたわけじゃなくて、それ以前に日本の領土であったという事が大事なポイントだと思います。古賀辰四郎が尖閣諸島の魚釣島で一時、アホウドリの羽毛とか鯉節工場を作って、一時280名余りの島民がいたらしいです。そして1940年に島から引き揚げているんです。第二次世界大戦後はアメリカの管轄下に置かれ、1972年に沖縄県の一部として日本に返還されています。その時に尖閣諸島は日本に帰された事になっております。近代国際法の先占の法理に基づいた日本の領土であることは明白であるという事です。

問題が起こったのは1969年から70年に国連の鉦

物資源調査で、尖閣諸島周辺の海域に大量の石油と天然ガスが埋蔵されているという事が判明してから、これから同諸島の所属に関して関心を示さなかった中国と台湾が急に領有権を主張し始めたという事です。中側は領有の根拠として江戸時代の古文書を何点か上げていたんですが、同諸島は中国大陸の大陸棚の一部であるから中国に領有権があると、資源を探查開発する権利を有すると主張しています。

確かに明治維新から始まって、琉球処分とか日清戦争までの間に宮古、八重山の分譲する案件とかが出て来ていて、その当時日本政府は領土の線引きをやるというのに一生懸命だったんだろうと思いますが、やはり万国公法とその当時言っていました。国際法です。それに則るとどうしても尖閣諸島は日本に所属するというのは明白であると、それを中国側が領有権を主張するのは、万国公法というのは欧米の法律だと中国は中華思想があるのかなという推測もあるんですが、それにしても国際社会の一員であるからには、国際法は遵守しなければいけないと個人的には思います。

余談ですが、私が八重山病院に勤務していた頃、平成8年(1996年)9月香港の活動家たちが尖閣諸島の領有権の問題で日本政府に抗議するために貨物船から魚釣島近くまで来て、海も荒れているのに海上に飛び込んだと、そして1人は死亡、もう1人は溺水して、八重山病院に運ばれてきました。ICUのスタッフは一生懸命命を助けるために処置をして、幸いなことに助かって、病院スタッフにお礼を言っている姿は何の変哲もない良い青年なんです。言いたいのは、尖閣は国の問題でいろいろありますが、実際に事故とかがあった時に運ばれるのは八重山なんです。現実問題としてそうせざるを得ないんです。人道的な立場から救急救命もやります。八重山はそういう場所なんです。

もう1つ余談ですが、2010年9月7日、尖閣諸島中国漁船衝突事件。これは中国の漁船が尖閣諸島近海で操業していた所、十一管区の巡視船が行きまして、勧告するんです。巡視船みずきとよなぐに、みずきに体当たりして逃げようとした事件がありました。当時民主党の政権下で管直人さんが首長で、外務大臣の前原さんがすぐ飛んできて視察をしたのを覚えています。公務執行妨害

という事で9月7日に逮捕されて、9月9日に那覇地検石垣支部に移されています。9月13日には船長以外の乗組員は帰っています。船長は9月25日にチャータ機で中国に帰りました。私は政治に疎いのでその辺の駆け引きは分かりませんが、処分保留という事で、いろいろ話し合いがありました。これはどのように関わったかという、当時私は海上保安庁の嘱託医でした。電話がかかって来て、船長が寝れないと、頭が痛い、見てくれないかという事で行きましたら、船長は福建省の片田舎の方で、言葉が通訳を介してもあまりよく分からないところがあって、症状としては寝れなくて頭が痛いと言っているんですけど、上原内科医の薬、安定剤と頭痛薬を無料であげました。その薬が効いたらしく喜んで、乗組員が沢山いて、中には刺青をした人とか素行の悪そうな若者がいて、話を聞いて自分達にも同じ薬をくれという事で、診察だけはしましよと海上保安庁の船に乗り込んで診察室で診察して、薬をあげたら喜んでいました。船長は帰る前に、その薬をくれんかという事で、あげました。後で国の係官がきて、上原内科にどれだけお金がかかったかという事で、僅かでしたが請求をしてくれという事で、国の偉い人が頭を下げてありがとうございましたと言われていました。

政治的な事は分かりませんが、尖閣の医療の面では私は関わりました。結局あの事件はユーチューブで画像が流れて、政治的な問題と絡み合って八重山にいる私たちも迷惑を受けたという事がありました。

どうしてこんなに覚えているかという、実は当時、同人誌をやっていたので、その体験記をその中に書いていました。それには私個人の政治的な意見も書いてありますので、事務局に置いておきますので、読まれてください。以上で私の卓話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

## 例会風景



会長が体験した尖閣関連話をしてもらいました。



本日のランチ「和食膳」



© 2014-15年度 国際ロータリー第2580地区 地区大会にて以下の項目が決議されましたので、皆様にお知らせ致します。

### 地区大会決議

#### <決議第12号>

#### 松島寛容(那覇西RC)パストガバナー追悼の件

1992-93年度ガバナーの松島寛容氏は2014年8月12日に逝去されました。私たちはこの偉大な先輩のご遺徳とご功績に対し、深甚なる感謝と敬意を表するとともに衷心より哀悼の意を捧げることを決議いたします。

2015年(平成27年)2月25日(水) 第32回 例会(通算2648)

国際ロータリー第2580地区



# THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2545



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



#### ● ネットアイカセリ(セセリチョウ科)

八重山諸島特産の鮮やかなオレンジ色をしたセセリチョウ。本州などに生息するキマダラセセリに似ているが、本種はやや大きく前翅先端が尖る。

例会日 水曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311  
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4  
 TEL/FAX 0980-83-2917  
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
 E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

会長: 上原 秀政  
 副会長: 新 賢次  
 幹事: 白道 直行  
 副幹事: 宮 良 薫  
 SAA・出席: 渡久地 明雄  
 情報・会報: 玉城 守雄